

(株)コテック

大阪府堺市に本社を持つ株式会社コテック。北勢田工業団地

内にある紀の川工場では、高速道路の側壁や車のヘッドランプ、ボールペンの透明部分などの原料となる、リサイクルペレットを製造しています。

リサイクルペレットとは、廃棄となった液晶パネルやCDなどのプラスチック製品を粉砕し、様々な原料をブレンドしながら、3〜5ミリ程度の米粒状にしたもの。日本では、年間約900万トンのプラスチック廃棄物が排出される中、コテックは、リサイクルメーカーとして国内最大規模の設備を備え、月産1,400トンのリサイクルペレットの製造を行っています。

リサイクルペレットの原料となるプラスチック製品は、色や硬さなど特性が様々で、それらをブレンドし、安定した品質の製品を作るためには高度な技術が必要です。コテックで

は、独自の技術を駆使して成分を調整することで、高い品質のリサイクルペレットを製造しています。

その品質の高さから、アメリカの製品安全規格UL認定や、品質・環境マネジメントシステムに関する国際規格ISO9001/14001を取得。さらに、代表取締役の小川仁さん(51)が「環境に配慮し、地球上に優しいモノづくりを行っていきたい」と話すように、工場クリーン化宣言のもと、塵や粉じんのない生産環境を整えることで、品質の向上にも努めています。

また、製造部門内で社員の配置替えを行うことで、様々な技術



(株)コテック 代表取締役
小川 仁さん

を持った社員の育成にも力を入れています。小川社長は「ひとつのことだけでなく、マルチな人材を育成していけるよう、一体となって取り組んでいけたら」と話してくれました。

生産管理部試作調色課の吉本恭輔さん(25)は、コテックで働く友人の紹介を受け、約2年前に入社。赤や黄など、様々な色のカラーペレットを製造するため、透明のペレットに調合した染料を入れ、色味を調整していく調色作業を担当しています。

鮮やかな染料は発色力が高く、ほんの少しの量で色味が大きく変わ

そう。「原料に対してどれだけの量の染料を入れるか、100万分の1単位で非常に細かい計算が必要なんです」と話す吉本さん。顧客要望に応じた色を表現するため、上司のアドバイスを受けつつ、試行錯誤を繰り返しながら、日々、製品の試作に励んでいます。

吉本さんは「地球温暖化など、環境問題が取り上げられる中で、環境に配慮したリサイクルの原料製品があることを、もっと広めていきたいです」と力強く意気込みを話してくれました。



1 透明のペレットに染料を入れ、機械で試験用板材を製作し、微妙な色合いを調整します。2 カラーペレットの元になる透明のペレット。3 工場クリーン化宣言できれいに整頓された工場内。



(株)コテックの
ホームページはこちら